

ウスイロサルハムシ(スギハムシ)

英名 : Sugi leaf beetle

学名 : *Basilepta pallidula* Baly



成虫(体長4mm程度)



被害葉(葉裏)



被害葉(葉表)

生態と防除

発育経過

: 卵→幼虫(土中)→蛹→成虫。2年に1化。

加害樹種、部位

: マツ、スギ、ヒノキなど針葉樹を主食とするが、コナラ、クリなどの広葉樹も食害する。モモ葉の加害は数年に一度見られる。加害部位は葉のみで果実への加害は見られない。葉裏から葉表薄皮1枚を残して葉肉を食害する。

越冬形態と越冬場所

: 幼虫、土中

年間発生回数

: 1回

- 防除時期 : 幼虫は土壤中で生息するので、防除は困難である。成虫は針葉樹では6月上旬から食害を始め、中・下旬にピークを迎え、その後漸減し、8月上旬には見られなくなる。したがって、モモ園でもその時期に注意する必要があると思われる。
- 防除対策 : 登録農薬はないが、被害の多い園地は、薬剤のかかりにくい部分に被害が多いので、慣行防除で対応できると考えられる。